



低軌道衛星通信事業者 LeoSat Enterprises 社との 戦略的パートナーシップと出資への合意について

スカパーJSAT株式会社(本社:東京都港区代表取締役 執行役員社長高田 真治以下スカパーJSAT)は、LeoSat Enterprises 社(本社:米国 ワシントン D.C.、以下 LeoSat)と戦略的パートナーシップと出資についての合意書を締結致しましたのでお知らせします。

スカパーJSAT が合意書を締結した LeoSat は、宇宙ビジネスに精通した経営陣により2013年に設立された低軌道衛星通信事業者です。今後、最大108機の低軌道衛星を打上げて宇宙空間に網の目のように衛星通信ネットワークを構築し、高効率の回線を提供する構想を持っています。衛星間通信を用いたポイントトゥーポイントのネットワークを特徴とした低遅延、且つ、高セキュリティの通信を可能とする LeoSat のサービスは市場性が高いとスカパーJSAT は考えており、事業立ち上げに向けた準備・検証を共同で行うことに合意しました。

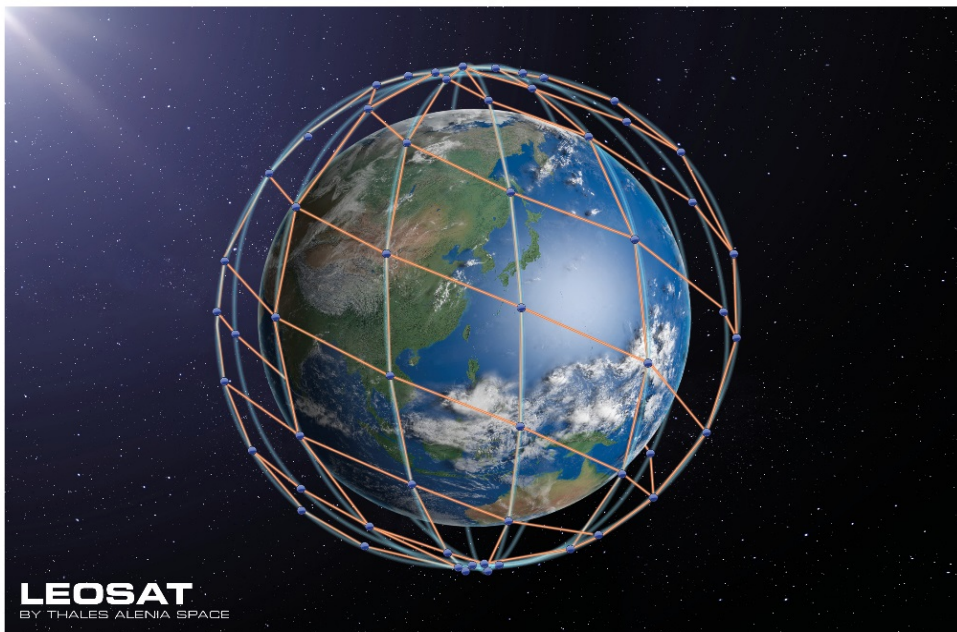
スカパーJSAT は静止軌道上での通信衛星による従来型のビジネスに加え、2015年度より低軌道衛星ビジネスにも参入しています。これまでに、超小型衛星ベンチャー アクセルスペース社への出資(2015年8月)、グループ会社を通じて開始した米国 Planet 社の光学衛星画像の日本独占販売開始(2016年8月)、ノルウェーの KSAT 社との地上局サービス事業および衛星画像による情報提供サービス事業等(2016年12月)を行っています。さらに、スカパーJSAT の地上局設備を拡充し、これを利用した低軌道衛星向け地上局サービス事業をまもなく開始する予定です。技術発展に伴う衛星の小型化や、廉価な衛星打ち上げサービスの拡大、さらには IoT ビジネスの活況化を背景に、今後数多くの低軌道衛星の打ち上げが予定されており、低軌道衛星ビジネスの市場規模は飛躍的な拡大が見込まれています。

スカパーJSAT は LeoSat と共に顧客・市場開拓を進め、宇宙・衛星事業のパイオニアとして、そしてアジア No.1 衛星通信事業者として、世界的に成長分野として注目されている低軌道衛星を活用した通信ビジネスに積極的に取り組んでまいります。

以上

【参考：LeoSat が計画するネットワーク概要】

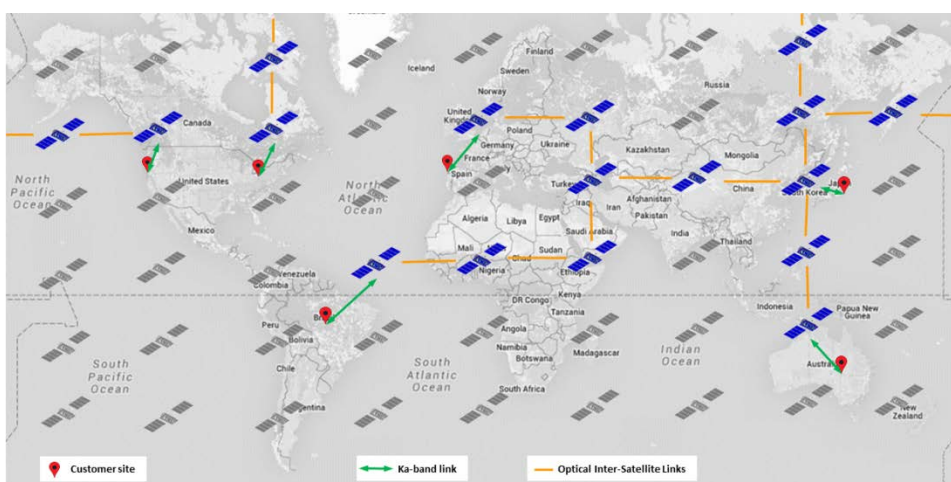
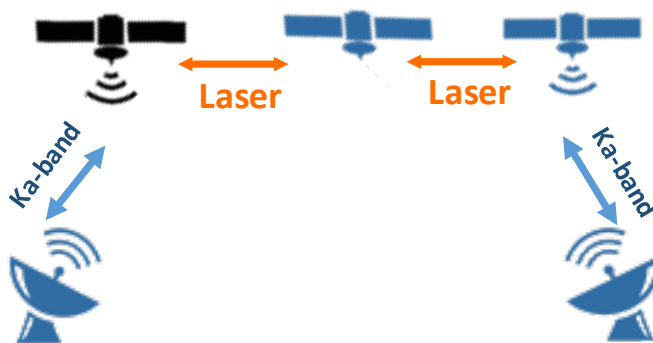
- ・衛星数 : 78 機 (6 プレーン) / 最大 108 機
- ・軌道 : 高度 1,400km の極軌道
- ・通信 : 衛星間 - 光レーザー通信 / 衛星-地上間 - Ka バンド
- ・衛星メーカー : Thales Alenia Space
- ・ネットワークの特徴 :
 - 宇宙の光ファイバーバックボーン
 - 高速
 - 超低遅延 (Low Latency)
 - 高セキュリティ
 - 全世界をカバー
 - 地上の Gateway を必要としない Point-to-point ネットワーク
- ・スケジュール :
 - 2019 年: デモ機2機打ち上げ / ギガバイトの”Store and Forward”サービスの開始
 - 2021 年: 衛星コンステレーションの打上げ開始 / Point-to-Point のサービス開始
当初は極域からサービスをスタートし、赤道地域にサービス地域を拡大
 - 2022 年: グローバルなフルサービスの開始



<LeoSat 衛星コンステレーションのイメージ>



< LeoSat 衛星のイメージ >



< 衛星間通信を活用した”Point-to-Point”通信のイメージ >